

いのち

第20号

発行：平成31年1月1日



土岐市立総合病院



理念

地域の信頼に応えるために
良質な医療を行います

基本方針

1. 人間尊重の医療に努めます
2. 常に研鑽し質の高い医療をめざします
3. 安全で満足できる医療を提供します
4. 医療をとおして地域社会に貢献します



地域医療を守るために

院長 伊藤昭宏

当院における医師の減少により、地域の皆さんに大変ご迷惑をおかけする一方で、厳しい経営を強いられているのが現在の状況です。日常の診療や救急医療に、医師だけでなく、看護師や技師その他コメディカルを含む職員全員が一丸となつて対応しています。しかし、すべてに対応することはできません。

そこで重要なのは、地域の医師会会員や開業医の先生方との連携と役割分担です。開業医の先生方は、かかりつけ医として普段から市民の皆さんの健康管理や治療を行つてみえます。これを一次医療と呼んでいます。そして、病状の急変や重症化に伴い手術や入院治療が必要な二次医療であれば、当院の出番となります。

病状がさらに重篤で高度・専門的な三次医療が必要な患者さんには、それに適応した病院を紹介しなければなりません。

ただし、一次医療、二次医療、三次医療と名札があるわけではありません。せんので、この振り分けをするのも重要な仕事になります。

初めから、どのレベルの救急医療の手当が必要な患者さんなのかわかる場合は少ないと認め、早期に診察や検査することが重要です。重症患者を受け入れる三次医療機関の負担を軽減するためにも二次医療と三次医療の患者さんを振り分ける必要性があります。

高度な医療が必要な重症患者さんの受け入れができないことも問題ですし、三次医療機関に軽症の患者さんが集中するのも問題です。周囲の病院や高度医療機関との連携をうまく図りながら、地域の医療を守ることが今必不可少のことだと考えます。

総合病院における経営改善の取り組み 経営改善ワーキンググループ(WG)

Q1 : 経営改善ワーキンググループ (WG) とはどんな集まりですか？

総合病院の経営改善に取り組むための院長直轄の組織で、医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、リハビリ技師、事務という様々な職種のメンバーで構成され、少しでも病院の経営を良くしようと様々な取り組みを意欲的に進めるために毎週1回集まり、意見交換を行っています。

経営改善の大きなテーマとして、次の3つを掲げています。

1. 収入増（アップ） 2. 費用削減（スリム） 3. 職場環境改善（チェンジ）

«アップ»とは、入院と外来の新規患者数を増やすための取り組みや、医療現場で行っている医療行為に対する対価（診療報酬）の算定に誤りのないようにチェックすることです。

«スリム»とは、経費の大きなウエイトを占める診療材料費や医薬品の経費縮減や、高額な医療機器の購入費の縮減に取り組むことです。

«チェンジ»とは、明るく楽しく働くために、あいさつ運動や接遇研修を活発に行い、組織の活性化に繋げることです。経営改善WGでは、サンキューカードの設置を提案しています。

◆サンキューカードとは

職場の仲間に“ありがとう”を伝えるためのカードを指します。最大の目的は、職場内コミュニケーションの活性化で、感謝の気持ちを見える化し習慣化することで、他部署との交流が促進され、本人のやる気を高め、人間関係を良くし、組織全体の雰囲気を良くする効果が期待できます。

Q2 : 経営改善WGのメンバーから、総合病院が市民の皆さんから期待されていること、市民の皆さんに提供したいことを教えてください。

◆看護部 河野高子 東松美幸

看護部では、市民の方々からのニーズに応えるため、訪問看護ステーションを開設して地域に貢献していくと考えています。また、外来看護を強化し、感染管理、皮膚排泄ケア、緩和ケア、糖尿病療養指導士などの認定看護師が患者さまの生活指導や疾病の予防に取り組み、地域と病院とを結び付ける役割を果たしていくと考えています。

◆事務 虎澤英司 丹羽雄一

総務課では薬品や診療材料など高額な支出となる材料費や経費の削減を図っています。医事課では新規診療報酬の算定や既存の診療報酬の算定率アップに取り組んでいます。

◆薬局 生駒辰夫

薬局では、適正な在庫管理を行い、無駄な支出を減らしています。また、注射薬、内服薬などをジェネリック医薬品に変更するなどにより医療費の削減に努めています。

◆中央放射線部 水野裕文 尾関 強

中央放射線部では、他院からの紹介検査の受け入れを増やし、また、医療機器保守点検契約の見直しなども行っています。

◆検査部 山本将毅 堀部充代

検査部では、利用者の立場にたった誠意ある応対と市民が安心して受けられる医療を目指し、無駄な支出を抑えること、質の高い医療を安定して提供すること、温かい接遇に心掛けています。

◆リハビリテーション部 浦本雅司 愛知真紀

リハビリテーション部では、地域の医療関係者や福祉サービスの関係者と情報交換や退院前の自宅訪問を実施し、患者さんが退院後もスムーズに生活していくようにきめ細やかな支援を心掛けています。

Q3 : 経営改善WGのリーダーから、市民の皆さんに求められている総合病院の姿について、述べてください。

◆医師 土川 聰（神経内科）

まずは、日頃、市民の皆さんに期待に応えきれていない現状をお詫びしたいと思います。

当院の経営危機の原因は第一に医師不足であり、直接的には大学医局による医師の引き上げによるもので、さらに本質的には地方の自治体病院に医師が集まりにくい国の仕組みそのものがあります。

残念ながら、これらの問題は我々の力の及ばないところではありますが、「地域に必要とされる病院であり続けよう。」を合言葉に、日々微力ながら経営改善の努力を続けています。

Q4 : では最後に、経営改善WGを統括する院長に締めていただきます。

◆院長 伊藤 昭宏

毎週、経営改善WGのメンバーが活発に議論を行っているのを見ると羨ましく思います。経営者としては耳に痛い意見もありますが、前向きな発言には大いに勇気づけられます。

地域の医療を守るために、多職種で病院を活性化させていくという姿勢は大いに活用したいと考えます。

訪問看護を通して、在宅と医療、看護・介護を繋ぐ

わが国での少子高齢化、多死社会は2025年問題として大きく取り上げられています。この東濃地域においても2015年から2025年までの間に15歳から64歳までの人口は13%減少する一方、65歳以上の人口は4%増加する見通しです。これから時代は病院で治療を行い、その後に在宅で“病気や障害があっても、その人らしい生活を安心して送れる”ように行政を中心に地域や町ぐるみで支えあっていくシステム作りが求められています。

現在、当院の訪問看護室では、看護師3名がかかりつけの神経疾患の方を中心にお住まいの看護・介護の支援を行っていますが、今後は、例えばがん治療を行なながら在宅で療養をしたい方、糖尿病で生活支援が必要となる方など、様々な病気や障害を持った方々に対して医療と看護・介護を切れ目なく繋ぎ、安心して在宅で過ごして頂けるように支援をしていく必要があると考えます。

また当院には、皮膚・排泄ケア、痛みの緩和、嚥下障害、糖尿病などの専門的な知識を持った認定看護師が多数います。その看護師と連携を取りながら幅広い病気や障害に対して支援ができることが当院の訪問看護室の強みと考えています。

これからは、かかりつけの患者さんだけでなく、一般の患者さんの在宅療養の支援もできるようになり、現在の訪問看護室を訪問看護ステーションへと拡大して、さらに患者さんやそのご家族に寄り添った看護・介護の介入をしていきたいと考えています。

年を取っても、安心してその人らしい生活が送れるような土岐市づくりを目指します。



<認定看護師の紹介>

認定看護師とは、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師です。以下に紹介する看護分野以外にも、がん化学療法看護や損食・嚥下障害看護、認知症看護などの分野の認定看護師を育成し、地域の皆さんに質の良い看護が提供できるように努めています。

今後は、病院内の活動にとどまらず、地域でも貢献できるように活動します。

(感染管理)

あらゆる感染の危険から、患者さんやご家族、職員を含めた院内のすべての人々を守るために、感染対策チームと協力し組織横断的に活動をしています。

(緩和ケア)

がんの痛みなど緩和ケアを必要とする患者さんやご家族の苦しみ、希望や価値観など様々な想いに寄り添いながら、何かをすることだけにとらわれず、傍にいることの大切さと難しさを確認しながら看護を行っています。

(皮膚・排泄ケア)

創傷ケア（床ずれ）、ストーマケア（人工肛門・人工膀胱）、失禁ケアを専門的に実践・指導・相談を行っています。院内では床ずれの予防やストーマ造設患者さんのセルフケア指導を行い、退院後もストーマ外来で継続的にフォローできるように支援しています。失禁ケアでは排泄管理や皮膚障害の改善や予防を行っています。皮膚・排泄ケアでお困りの際には、気兼ねなくお声をかけてください。

新任医師を紹介します

8月1日赴任



研修医
相馬 美月

一日も早く仕事を覚え、地域の皆さんとの健康的な生活に貢献できますよう日々努力してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



外 来 診 療 表

平成31年1月

診療科名	月	火	水	木	金	備考
内 科	1診 内分泌	吉田 仁美	川喜田 節代	栗本 隼樹	吉田 仁美	川喜田 節代
	2診 血液／呼吸器／循環器	磯部 好孝 (呼吸器)	山内 辰也 (血液内科・新患)	加藤 俊夫 (呼吸器)	当番 医 (循環器)	小沢 直也 (呼吸器)
	3診 新患／消化器	新見 隆夫	大原 和人 (消化器)	当番 医	川喜田 節代	中川 泰樹
	5診 循環器		当番 医 (循環器)			当番 医 (循環器)
	透析予防外来／循環器				池庭 誠 14:00～	
	6診 循環器／リウマチ・アレルギー	青山／吉岡 (循環器)	西尾 克彦 (リウマチ・アレルギー)		西尾 克彦 (リウマチ・アレルギー)	西尾 克彦 (リウマチ・アレルギー)
	7診 内科／内分泌		安藤詩奈子 (内分泌)		中川 泰樹 (内科一般)	池庭 誠 (内分泌)
	8診 消化器／血液／内科	藤本 正夫 (消化器)		藤本 正夫 (消化器)	山内 辰也 (血液内科)	新見 隆夫 (内科一般)
神経内科	2診	三竹 愛子	土川 聰		三竹 愛子	土川 聰
	3診		大塚 康史	高橋 典三		大塚 康史
	10診 内科		河野 親夫			
	物忘れ外来			三竹 重久 (PM)		
腎臓内科		村山 慎一郎	村山 慎一郎	三輪／村山	村山 慎一郎	村山 慎一郎
外来ドック室		清水 豊	清水 豊	伊藤 昭宏	新見／太田	伊藤 昭宏
整形外科	1診		西本 聰	木村 昌芳	西本 聰	西本 聰
	2診	永井 聰太	谷口 巧			
	3診	市瀬 彦 聰			蜂谷 紅	
外 科	1診	伊藤 昭宏	榎間 勝利	川西 順 (血管外科)隔週	細川慶二郎 (血管外科)	榎間 勝利
	2診	山川 耕平	山川 耕平	中川 雅文	伊藤 昭宏	中川 雅文
	特殊外来		榎原 勝利 (AM) (ストーマ外来)			沼波 宏樹 (PM) (呼吸器外科外来)
小児科	1診	元吉 史昭	元吉 史昭	元吉 史昭	後藤 淑平	馬場 礼三
	2診		中野 正大 (予約制)		元吉 史昭	
	外来(PM)	(予防注射) 元吉 史昭	元吉 史昭		元吉 史昭	
耳鼻咽喉科	1診		山中 俊平		楊鈞雅	楊鈞雅
眼 科	1診	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏
産婦人科	1診	石原 豊	石原 豊	田中 隆行	石原 豊	仲西 菜月
脳神経外科	1診	辻本 真範	北島 英臣	佐々木 望	辻本 真範	北島 英臣
	2診			野田 伸司		
泌尿器科	1診	山本 徳則	金井 茂	山本 徳則	金井 茂	金井 茂
歯 科		横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰
精神科	1診		加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹	鈴木 幹央
	2診					関正樹 (特殊外来)
皮膚科	1診			松山 かなこ		伊藤 満
リハビリテーション科		当番 医	当番 医	当番 医	当番 医	当番 医

◆受付時間 午前8時30分～11時30分

※各診療科目担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。

◆休診日 土日祝祭日、および年末年始(12月29日～1月3日)

*印の診療科は、予約制となっております。

◆面会時間 午後1時～8時

(初診でかかる方は、あらかじめお電話でご予約をお願いします。)

2次救急当番のお知らせ

東濃厚生病院(瑞浪市)と輪番制で、土岐市、瑞浪市の2次救急当番を行っています。時間外や土曜日、日曜日、祝祭日については、毎週金曜日と第2第4土曜日が当院の2次救急当番になっており、救急車の受け入れを行っています。

(診療科によっては受け入れられない場合があります。)

土岐市立総合病院 併設：土岐市老人保健施設「やすらぎ」

〒509-5193 土岐市土岐津町土岐口703番地の24

電話：(0572)55-2111 FAX：(0572)54-8488 E-mail:byoin@city.toki.lg.jp

*3診
(新患)
以外は
予約制

*予約制

*予約制

*予約制

*予約制

*予約制